



【学校教育目標】自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子どもの育成

6年生の卒業を前に 「ありがとう集会」

卒業式が一日一日と近づいてきた2月26日、1年間下級生のお世話をしたり、委員会活動で学校のために働いたりしてくれた6年生に感謝の気持ちを伝えようと、「ありがとう集会」を行いました。

各学年からは、出し物と心をこめて作ったお礼の品を贈りました。

「ありがとう集会」の後の6年生の声をご紹介します。

- 「ありがとう集会」で、各学年から6年生にしっかりありがとうの気持ちが伝わりました。1年生はかわいいおどりで、中学校でも頑張れそうな気がしました。2年生はいっしょに「こぎつね」をおどって元気になって、楽しくおどれました。3年生は、「ありがとうの花」を歌いながらみんな紙を持って、歌も上手だったし、打上くんもきれいにできていてすごかったです。4年生は、6年生の一人一人の良さを発表して、よく見てくれていたんだと思いました。5年生はきれいな歌声で、「ありがとう」の気持ちが伝わり、来年度も頑張っしてほしいです。どの学年もよく工夫して、下級生はかわいく、上級生はさすがだなと思いました。僕たちも各学年にありがとうの気持ちを伝えられて、リコーダーもきれいに吹くことができていたので、気持ちを伝えられたと思います。
- 今回初めて送ってもらう側になって、1年生から5年生までの感謝の気持ちがたくさん伝わりました。どの学年も心温まる発表で、1年生はダンスがとてもかわいく、私たちを一生懸命応援してくれてうれしかったです。2年生は、いっしょに「こぎつね」をおどって楽しかったし、いい思い出となりました。3年生は画用紙のメッセージをみんなでつなげて、ひとつにまとめて上手でした。4年生は、一人一人に言ってくれたので、さらにうれしかったです。5年生は歌声が美しく、「さすが5年生だなあー」と思いました。各学年のプレゼントもていねいに作ったり書いたりしてくれた思いが感じられるプレゼントでした。ゲームも楽しかったです。今回、送られる側というものは本当にうれしいなと思いました。そして、今まで準備してくれた1から5年生に感謝したいです。私たちの思いもきっと届いたと思います。みんなも、私たちの指示に従ってくれたことに感謝します。
- (前略)どの学年からも「ありがとう」という気持ちが伝わってきて、打上小学校の6年生でよかったと改めて思いました。中学生になってもこのことを忘れず、ずっといい思い出として覚えておきたいです。
6年生からも1年生から5年生にも「ありがとう」というお礼がしっかりできたと私は思いました。手紙やしおりも、大切にしておきます。
- (前略)私たちも、全校のみんなに感謝を伝えることができました。今日の「カノン」(演奏した曲の名)も、今までで1番良い演奏ができました。
ゲームでは、ジャンケンをして多くの人とジャンケンをして楽しめました。みんなニコニコと走って来る姿がかわいかったです。(後略)



6年生の優しさや温かさを感じます。

来年度の新しい学年に向けて

3学期の全校朝会では、いよいよ最後のまとめと新しい学年に向けての準備の時が来たことを話しました。6年生には、もう目の前に卒業が迫っています。卒業の日は必ずやってきますが、本当の卒業とは、「今やるべきことをしっかりとやりきってしまうこと」です。それが、次の中学校生活での大きな力となります。卒業式の練習も始まりました。**最後の全力疾走に期待しています。**

また、このことは、他の学年にも言えます。例えば、4年生は初めての委員会活動に張り切って取り組んでいますが、学級での生活や学習も、しっかりとやり遂げようとしています。5年生は、来年度は自分たちが最上級生としてしっかりと打上小学校をより良い学校につくりあげる意欲と心構えがあります。ここに、ある5年生が、自学（自主学习・自由課題学習）のノートに書いてきた内容をご紹介します。本当によく考えているなど感心するとともに、これまでの5年生の姿から、この内容は5年生のみんなが持つ思いであると思っています。素晴らしい子どもたちだと思います。

自学テーマ「来年度に向けて」 ※ 打上小学校が行っている「なかよし学習」の形で書かれています。

- ㊦（なんだろう） … 5年生の良いところ悪いところを見つけて、来年に向けて考えよう。
- ㊧（かんがえよう） … 5年生の事
- 【良いところ】・みんな仲良く一緒に遊べる。 ・歌を上手に高音・低音に分かれたりして歌える。
・みんなで活動する時は、お互い協力し合える。
- 【できていないところ】
・動くたびにガヤガヤとなる。 ・切り替えがパッとできていない。
- 【良くなってきたところ】
・給食中のガヤガヤとおしゃべりが少なくなってきた。
・外（外遊びなど）から帰ってくるのを、5分前に帰ってきて準備までする。
・発表が前より多くなってきた。
- 【これからのこと】
・出来ているところはもっと良くして行って、出来ていないところは直して完ぺきになるまで努力する。
・ぼくたちがしっかりとすると、下の学年もまねをしようと思うから、メリハリなどをつけていきたいです。
- ㊨（よさを見つけよう） … 来年（度）は、ぼくたちは最上級生になるから、メリハリなどをつけて、これまで以上の「頼れる6年生」と言われるようにがんばる。
- ㊩（しっかりわかったよ） … もう始まっているけれど、これからバトンをもらう時期になってきて、しっかり受け継ぎたいと思いました。

※ 担任からの言葉（ノートに）

このように考えている人がいるなんて、来年度の打上小は大丈夫ですね。

いじめ撲滅を訴える プロレスラー将火怒さんを迎えて



2月6日、いじめ撲滅活動を続けていらっしゃる「心優しき悪役レスラー」^{まさかど}将火怒さんを打上小学校に迎えて、お話をさせていただきました。将火怒さんは、小学5年生の頃からいじめに遭い、中学・高校の時は不登校になりました。しかし、様々な苦勞を乗り越えて現在に至っています。将火怒さんは、「本当の強さとは、人の痛みがわかること、思いやりを持つこと、いじめにあっている人がいたら、協力して助けてあげること」と話されました。

打上小学校では、前回ご紹介したMonさんを迎えた「人権集会」、唐津市の人権擁護委員さんを迎えて行った「人権教室」、弁護士さんを迎えて法律の面からお話をいただいた「いじめ予防教室」、田辺産婦人科クリニックの看護師さんらに講話をしていただいた「命の教室（大切なもの）」と、外部の多様な人材をお迎えして、人への思いやりを持つことや命を大切にすることの大切さを、子どもたちが感じ考える機会を設けてきました。これからも、ますます優しく真に強い子に育ってくれるように、努力します。



タッチ・握手でお別れ

来年度1学期中の主な行事まで、ホームページに掲載していますので、そちらも御覧ください。